

2025年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2025年2月14日

上場会社名 ENEOSホールディングス株式会社 上場取引所 東 名
コード番号 5020 URL <https://www.hd.eneos.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 宮田 知秀
問合せ先責任者 (役職名) インベスター・リレーションズ部 (氏名) 於勢 孝 TEL 03-6257-7075
IRグループマネージャー
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満は四捨五入して表示しています）

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年12月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2025年3月期第3四半期	9,605,938	△6.2	302,455	△21.7	287,777	△22.6	170,691	△17.4	264,824	△15.4
2024年3月期第3四半期	10,245,315	△9.6	386,319	54.7	371,792	59.7	206,766	115.3	312,893	74.8

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	59.56	59.45
2024年3月期第3四半期	68.59	68.44

（2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	％
2025年3月期第3四半期	10,059,326	3,643,409	3,178,357	31.6
2024年3月期	10,136,545	3,703,818	3,227,213	31.8

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	11.00	—	11.00	22.00
2025年3月期	—	13.00	—		
2025年3月期（予想）				13.00	26.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	14,000,000	1.0	420,000	△9.7	400,000	△10.7	220,000	△23.6	80.35

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

通期の連結業績予想は、前回（2024年11月13日）発表を据え置いています。

上記の「基本的1株当たり当期利益」の算定上の基礎となる期中平均株式数については、2024年12月31日現在の発行済株式数（自己株式数を除く）を使用しています。

在庫影響（*）を除いた利益相当額（予想）は、以下のとおりです。

	営業利益	（対前期増減率）
在庫影響を除いた利益相当額（通期）	2025年3月期 予想 420,000百万円	（6.8％）

[＜参考＞ 2024年3月期 実績 393,264百万円]

（*）総平均法及び簿価切下げによる棚卸資産の評価が売上原価に与える影響

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有
新規 1社 (社名) タツタ電線株式会社

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：有

(注) 詳細は、添付資料P. 12「2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計上の見積りの変更)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2025年3月期3Q	3,032,850,649株	2024年3月期	3,032,850,649株
2025年3月期3Q	294,962,477株	2024年3月期	44,198,959株
2025年3月期3Q	2,865,637,950株	2024年3月期3Q	3,014,700,785株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：有(任意)

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述について)

本資料には、将来見通しに関する記述が含まれていますが、実際の結果は、様々な要因により、これらの記述と大きく異なる可能性があります。かかる要因としては、

- (1) マクロ経済の状況又はエネルギー・資源・素材業界における競争環境の変化
- (2) 法律の改正や規制の強化
- (3) 訴訟等のリスク など

が含まれますが、これらに限定されるものではありません。

※ 対前期(対前年同四半期)増減率について、当期(当四半期)・前期(前年同四半期)の一方もしくは両方がマイナスとなる場合や、増減率が1,000%以上となる場合は「－」を記載しています。